

2018年8月22日

各位

## ゼオンメディカルが、胆管ステントの新製品を上市 ～ムービングセル構造で、複数の胆管閉塞への対応が可能に～

日本ゼオン株式会社

ゼオンメディカル株式会社（本社・東京都千代田区、社長・柳田 昇）はこのたび、胆管メタリックステントの新製品「HILZO™ STENTS 胆管アンカバードステント」を上市しました。編み込みタイプ<sup>\*1</sup>の「ムービングセル構造<sup>\*2</sup>」により各セルを最大10mmまで拡張できる本製品は、閉塞性黄疸症例に使用することで胆汁の流れを改善でき、患者様のQOL<sup>\*3</sup>の更なる向上に貢献いたします。

日本ゼオン株式会社（社長：田中 公章）のグループ企業で医療器材事業を展開するゼオンメディカル株式会社は、循環器系、消化器系の各種デバイスを製造販売しています。

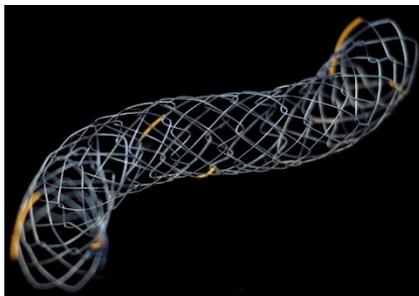
胆管メタリックステントとは、金属を筒状・自己拡張するように形成し、閉塞した胆管を広げて胆汁の流れを確保する処置具です。手術不能な患者様の場合に、生存期間中のQOLを維持するために使用されます。

胆管は肝臓内に樹枝状に広がる肝内胆管から一本の総胆管となって十二指腸に至り、その中を肝臓で作られた胆汁が通ります。

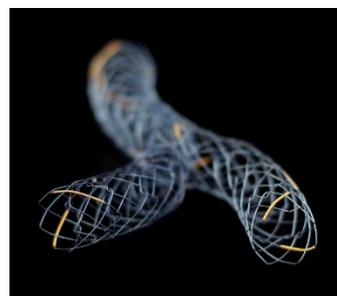
ナイチノール<sup>\*4</sup>を材質とする本製品「HILZO™ STENTS 胆管アンカバードステント<sup>\*5</sup>」は、10mm径まで拡張できるセルから分岐する肝内胆管へさらにステントを挿入・留置することにより、樹枝状の構造を形成することが可能です(写真右)。これにより、胆道閉塞が原因で起こる「閉塞性黄疸」を軽減します。

ゼオングループはこれからも本業を通じて、医療技術の進展に努めてまいります。

以上



セルの拡張を容易にしたムービングセル構造



途中から別のステントが枝分かれする

- \*1 編み込みタイプ  
：金属のワイヤーを編み込んで筒状に形成するタイプ。他には金属パイプに切込みを入れ広げて網目を形成するレーザーカットタイプがある。
- \*2 ムービングセル構造  
：ステントの網の交叉する部分が固定されていない形状。網目の各セルを自由に伸縮させることが可能。
- \*3 QOL  
：Quality Of Life の略。人がどれだけ人間らしい生活や自分らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度としてとらえる概念
- \*4 ナイチノール  
：ニッケルとチタンから成る形状記憶合金。
- \*5 アンカバードステント  
：金属の網が表面に露出したステント。一方、膜で覆われたタイプはカバードステントと呼ばれ、カバード／アンカバードは症例によって使い分けられる。

本件に関するお問い合わせ先

日本ゼオン株式会社 CSR 統括部門 広報室

電話：03-3216-2747